

全国『足』の御守り！

新年なので、ご利益がありそうな話題をひとつ

足にまつわる御守りってあるのかな？と調べてみました！
全国『足』の御守り！



**鳴子温泉の活性化に
作られた御守り**
地元の方が古着(着物)を下駄上
に仕立て手作りで作製。
地元の足尾神社に祈願してもらい
販売しています。



遠州信貴山の仏足御守り
信貴山(奈良県)は聖徳太子の御
開基による日本最古の毘沙門天
の霊刹で、お釈迦様の御足を拝
み、身に付ける事で足腰の病から
お守りするものです。



花畑大鷲神社の健足御守
足の甲の部分に着用する御守サ
ポータータイプになっていて裏側
に足を刻印がされているコインが
入っています。

その他にも沢山の足にまつわる御守がありました！！

足の神様 服部天神宮 (大阪府豊中市)

当社の祭神は少彦名命(医薬の祖神)と菅原道真(学問の神)の2神を合祀する。服部天神宮のパンフレットによると、この辺りは渡来人の秦氏が住居していたところとされ、服部の地名も「機織部(はたおりべ)」から成り立ったとしている。この秦氏一族が崇拝していたのが「少彦名命」とのことで、当社の創建はこの時代まで遡ることになる。菅原道真が901年(延喜元年)大宰府に左遷される途中、この辺りで脚気に悩まされ、足が浮腫んで歩けなくなったとき、村人の勧めで、「少彦名命」を祀る服部の路傍の小祠に詣で、平癒を祈願したところ、持病の脚気が治り、無事に大宰府に着いたと伝えられる。菅公の没後、各地に天神信仰が起ったが、当社も菅公の霊を合祀し、「服部天神宮」として社殿を造営したことから、全国に菅公脚気平癒の霊験が喧伝され、「脚気天神」「足の神様」として広く信仰を集めた。特に、当地は大坂から池田、能勢、亀岡に通じる能勢街道の中間地点にあったことから、江戸時代の中期から末期にかけては、非常な賑わいを見せ、旅籠、料亭、茶店が軒を並べていたといわれる。



[参考資料] 『足の神様・服部天神宮』由緒 服部天神宮パンフレット より

今年も足から元気に一年を楽しく過ごされることをお祈りしております